探究の道標

第5号 R1.5.23

特集 メンタリングの進め方

皆さん、学びあってるか~い! そして、やればできるぞー! 2年生のチームも研究テーマを 決めて、情報収集や実験・調査の準備に取りかかっているところかと思います。3年生の皆さん、 論文は書き進めていますか? 探究活動もどんどん忙しくなりますね。

さて、今回はメンタリングについて特集します。これから忙しくなるからこそ、メンタリングに も時間を割いて、不要なやり直しを避けるようにしましょう。各ゼミで様々に工夫して取り組もう としているようです。経験者の智恵には大変な価値があります。大いに期待していますよ。メンタ リングで研究の質をどんどん高めていこう!

★ メンタリングとは(おさらい)

ティーチング → 答えを知っているひとが知らない人に答えを教える

→ 相手自身が答えを見つけられるように支援する

メンターは答えを知らなくてもいいのです。

メンティとの会話を通してメンティ自身の思考をサポートしていきます。

★ 3つのスキル その1「傾聴スキル」

メンティが気持ちよく話せるように話に耳を傾けましょう。具体的には、

- ① 肯定する
- ② 反復する
- ③ 言い換える
- 4 褒める
- ⑤ 相槌を入れる
- ⑥ うなずく
- ⑦ 質問する
- 8 感心する

【NG な振る舞い】

- 「でもさ」「いやいや」など、否定する。
- 「そうそう、私も・・・」というように、 自分が話してしまう。

意識してやってごらん。コミュニケーション能力が高まるよ!

★ 3つのスキル その2「質問スキル」

メンタリングでよく使われる質問には大きく分けて2つの質問があります。

- ① クローズドクエッション (Yes・No で答えられる質問)
- ② オープンクエッション (答えが複数ある質問)

クローズドクエッションで会話しやすい雰囲気を作って、オープンクエッションを中心 にしてメンタリングを進めていきます。たとえば、

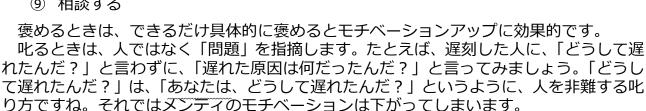
- 1. 「元気?」・・・・・・・・・・クローズドクエッション
- 2.「今日も頑張ろうか」・・・・・・・クローズドクエッション
- 3. 「何か困ってることはある?」・・・・オープンクエッション
- 4. 「原因は何だろう? |・・・・・・・オープンクエッション
- 5. 「どうすればいいと思う?」・・・・・オープンクエッション

メンティが話しているときは、「傾聴」を忘れずにね!

★ 3つのスキル その3「承認スキル」

褒めたり、認めたり、時には叱ったりしてメンティのモチベーションを高めるようにし ます。承認の具体的な行動としては次のようなものがあります。

- ① 挨拶する
- ② 名前で呼ぶ
- ③ 仕事・作業をまかせる
- 4 ねぎらう
- ⑤ 感謝する
- ⑥ 約束や前に言ったことを覚えている
- ⑦ ちょっとした変化に気づく
- ⑧ 意見を求める
- 9 相談する



★ メンタリングの効果

【メンターにとってのメリット】

- ① 自分の学び直しになって、確かな知識が身につきます。
- ② 集団の中での望ましいコミュニケーション能力が育ちます。

【メンティにとってのメリット】

- ① 問題解決や意志決定に役立ちます。
- ② 先輩と経験知を共有して探究活動に役立てることができます。

★ メンタリングをはじめよう!

3年生は、失敗を恐れずに、気軽に声 をかけましょう。質問が無くても、毎時 間、「何か聞きたいことない?」と声をか けることを続けていれば、後輩たちも質 問しやすくなると思いませんか?

先輩からだけでなく、後輩からも声を かけてみましょう。「質問してもいいで すか?」と後輩から声をかけてもらうこ とは、先輩たちにとって、「頼りになる先 輩」 と認めてもらえたという喜びにつな がります(多分)。

お互いにちょっとだけ努力して、距離 を縮めてみませんか。仲良くやれば探究 活動が何倍も楽しく、充実したものにな ると思いますよ!



